

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)

記

1. 講師：信愛クリニック 院長
井出 広幸 先生
2. 演題：歯科心身臨床における『困った・・・よくならない・・・』こんなとき、どうすれば良いのか？
3. 日時：2019年10月17日(木)18時00分～20時00分
4. 場所：10号館2階 歯科心身医学分野医局
5. 要旨：歯科心身臨床を実践していれば誰しも、手を尽くしても症状が軽快しない症例を経験するはずです。そのような時に、どうアプローチすれば良いのか？ホームランが打てなくても、ヒットが打てなくても、送りバントして少しずつ進んでゆくようなプレーとは何か？臨床現場にいる人にのみ役に立つ、負けない心療とは？その考え方と、実践技術についての討論を通じて、明日の心療に役立ててください。

いつも大変お世話になっている、PIPCの井出広幸先生に、今回はもう一步踏み込んだ臨床の取り組み方のお話を賜りました。

日頃の臨床で、

- ①クスリが効かない・・・
- ②症状は改善はしたものの残っている・・・
- ③1つの症状が良くなったら、別の症状が出てきた・・・

と言ったことがしばしば生じます。

このような時は、

- a. 診断の誤り（特に bipolarity や解離・精神病の見落とし）
- b. 服薬状況の確認
- c. 飲酒の問題
- d. 劣悪な環境（仕事・家族・パートナーetc.）
- e. そもそもの根源的な問題（前回の AEDP のお話につながります）

などを見直し、治療方針を立て直す必要がある、ということ具体的な技法も交えて、ユーモアと含蓄たっぷりにお話し頂きました。

一方で、井出先生の心療への燃えるような情熱と、とことん患者さんに寄り添う姿勢は、お若い頃の痛恨の1例から、という深い事情もお聞きし、いつも朗らかな先生の「根っこ」を垣間見た思いが致しました。一同、井出先生のように明朗に振る舞いながらも、謙虚に患者さんのつらさに正対する医療者でありたいと思いました。

あっという間の2時間でしたが、深くてよいお話を堪能した後、教室でささやかな懇親会を開きました。

医学部総合診療科の山田先生と、MMAコースの岡山先生にもご参加頂き、大変充実した特別講義となりました。（2019年10月18日、文責；豊福）

